

平成27年度宇治市の家計簿

前年度からの

具体的には…

収入

給与などの収入	489 万円 (+16 万円)	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	67 万円 (-2 万円)	地方交付税
ローン(家・車の購入のため)	13 万円 (-7 万円)	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン(生活資金のため)	29 万円 (-7 万円)	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	4 万円 (+1 万円)	基金繰入金
繰越金	5 万円 (-1 万円)	繰越金



収入合計 607 万円 (±0 万円)

平成27年度の家計は…

昨年度と比べて給与などの収入は増えたものの、生活費なども増加しており、家や車の購入にかかる経費を減らしました。しかしながら、収入より支出が多くなっており、ローンの借り入れを行ったり、預貯金を引き出すことで、不足分を補うこととしました。

今後も生活費、子どもの教育費などは増えることが見込まれているほか、家や車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借り入れや預貯金の引き出しを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力が必要です。

なお、ローン残高は、借入額より返済額が多くなったことから減少となり、将来にわたる負担は軽減が見込まれるものの、預貯金残高は、前年度より微減となりました。

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの

具体的には・・・

支出

生活費	252 万円〔+5 万円〕	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	156 万円〔+5 万円〕	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	75 万円〔+5 万円〕	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家や車の購入	39 万円〔-13 万円〕	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	24 万円〔±0 万円〕	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	3 万円〔-1 万円〕	基金への積立金
ローンの返済	54 万円〔-1 万円〕	公債費
支出合計	603 万円〔±0 万円〕	
差し引き	4 万円〔±0 万円〕	
ローン残高	450 万円〔-8 万円〕	年度末の市債残高
預貯金残高	94 万円〔-1 万円〕	年度末の基金残高



(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ローン残高	237,418	242,313	235,781
預貯金残高	48,597	49,322	49,517

